

		①会社の規模				②成長段階				③社長の特徴						④社長の立場					
		① 小企業	② 中小企業	③ 中堅企業	④ 大企業	① 創業期	② 成長拡大期	③ 成熟安定期	④ 衰退と再挑戦期	I		II		III		I 創業経営者	II 後継者社長	III オーナー経営者	IV 任せられた経営者	V ベンチャー経営者	VI 通常の経営者
										ビジネスモデル構築型	人間関係構築型	開発型	営業型	管理型	起業型						
「社長の仕事」																					
最初にすべきこと	1	経営の要素と構造を知ること																			
(1) 方向性を決める	2	ミッション・ビジョン・バリューを明確にする																			
	3	会社のカルチャーを作る																			
	4	経営戦略と経営戦術を明確にする																			
	5	経営計画を作成する																			
	6	意思決定する																			
	7	未来を作ること																			
	8	会社の目標を明確にする																			
	9	新規事業を作る																			
	10	ビジネスの設計者																			
			ビジネスモデルの創造と改善																		
	11	撤退を決める																			
(2) 望む方向に向かって会社を最適化して成果を出す	12	全体を最適化して基準値を維持・向上させる																			
		会社全体をモニタリングして現状を把握する																			
		事業部門、機能部門の相乗効果をもたらす																			
	13	チームビルディング																			
		異質性のマネジメント(異質で多様な能力を率いて最高のパフォーマンスを上げる)																			
		社員の採用・育成・評価																			
		社員の労働環境を整備する																			
		社員のメンター/チアリーダーとなること																			
		社員の象徴として目指すべき存在となること(社員の手本となっている)																			
		社員を目標達成のために動かす																			
	14	トップ営業(大口の契約)																			
	15	フロントマンとしての露出																			
	16	全ての部長																			
	17	譲れない点の監視人																			
18	仕組みをつくること																				
19	現場で仕事をする																				
	得意な仕事行って実績を積み上げる																				
20	支払い管理(支払いを1秒たりとも遅らせていないか?)																				
21	社内変革を押し進める																				
(3) 責任を取る	22	責任を取ること																			
	23	リスクマネジメント																			
	24	資金繰り(資金調達)																			
		エクイティファイナンス																			
	25	社長は「幸せの専門家」じゃないといけない																			